

根本転換宣言 1

(や＝山田 学)〔☆★根本転換宣言★☆☆  
☆今の地球と日本は、究極の、異常な状況。  
さう、感じませんか。〕

山田 学が、この状況を、根本転換させていただきます。そのために50年間、地道に、〈眞智〉(健康平和な、現実の認識)を、追究してまゐりました。戦後の日本社会は、地球の他の社会に無い、特異な思想状況に、ある。山田 学は、そのなかにて生活させていただきつつ、右翼系と左翼系の究極の論理対話と、その解決も、すでに成し遂げてをります。根本転換は、日本民族の、縄文時代からの底力を、編成し、結集することにより、成る。そしてこの根本転換は、日本国の新発想の政治勢力により、保護され、推進される必要がある。ある政党が、〈国防〉以前に、〈国まもり〉と規定し、〈国民ひとりひとりの国まもり決意〉こそを、その起点とした。日本国民ひとりひとりが、しだいに、次の決意表明をしていつては、どうでせうか。〕

(決意表明)〔わたくしは、〈国まもり〉についての自分の勉強段階なりに、また、自分の生活や生産の特殊性から、このやうに、わが愛する日本国を、まもります!!〕

(や)〔<sup>縄文</sup>JOMONあかでみいなどにおける、わたしの文章の多くが、難解なのは、理由があ

ります。〕

わたしは、19世紀ドイツのヘーゲルやマルクスの時代に比べ、20世紀以降の人間社会に、もっとも欠けてゐるのは、事物の本質把握能力であると、考へてをります。

ですから、わたしは、その能力の復興を、体現すべく、〈眞剣に腰をすゑ、何度も何度も味読してこそ、しだいに理解できてゆく文章〉が、多いのです。

文章はこのままとし、これの解説と討論については、実は、わたし流の柔和な語り口にて、有償販売を、考へ始めます。

たとへるなら、わたしは〈眞智〉を追究しつつ、山奥へ、山奥へと、入り込み、里の人のところとからだから、少し、離れました。里の人のところとからだの、代表の方から、「山田さん、そんな説明ぢやあ、かういふことが、わからんぞ!!」と、鋭く、突込んでいただく。「里の方がたは、さういふところにて、前へ、進めなくなつてをられるのですなあ…」なんぞと、山田が、とぼけつつ、解説と討論に、努めてゆく。そんなかけあひを、動画配信や、ネット面会や、実面会にて、有償販売させていただきます。みなさま、耳を傾けてくださりますでせうか。むろん、〈0から出発し、段階を踏みつつ、ますます信用と売上をいただいてゆく。さういふ、オンリーワンのビジネスモデル。〉として、計画させていただきます。元となる、難解だが、オンリーワンの、JOMONあかでみい「店頭」画面内の文章は、次

の4本です。

〈悦びへの伝言〉

有益さ主張 [http://www.jomaca.join-us.jp/dengon\\_fine.pdf](http://www.jomaca.join-us.jp/dengon_fine.pdf)

本文 (5枚) <http://www.jomaca.join-us.jp/dengon.pdf>

〈地球協同社会へ〉

有益さ主張 [http://www.jomaca.join-us.jp/chikyuu\\_fine.pdf](http://www.jomaca.join-us.jp/chikyuu_fine.pdf)

本文 (19枚) <http://www.jomaca.join-us.jp/chikyuu.pdf>

『原始の普遍信仰について』

有益さ主張 [http://www.jomaca.join-us.jp/genshi\\_fine.pdf](http://www.jomaca.join-us.jp/genshi_fine.pdf)

本文 (6枚) <http://www.jomaca.join-us.jp/genshi.pdf>

〈TQ、しませんか?〉

有益さ主張 [http://www.jomaca.join-us.jp/tq\\_fine.pdf](http://www.jomaca.join-us.jp/tq_fine.pdf)

本文 (10枚) <http://www.jomaca.join-us.jp/tq.pdf>

これらの解説と討論が、日本社会にて、日本民族流のコミュニティや、新しい成長分野(主に、中小企業連合)へ、ひとつの起点と、なりはしないでせうか。

諸個人の自立と協同。諸民族の自立と協同。さういふ理想へ。

ひとりひとりが自身の体内に注意しあふことを、すべての起点とする。これは、沖 正弘師(1919~1985)のヨガの原理です。

日本は、敗戦により、良い意味にても、悪い意味にても、多くの日本人の生活の軸であつた、皇国史観教育が、無に帰しました。代りに、欧米のキリスト教教育が、成立したわけではない…

戦後のバブル崩壊までは、〈さしあたり、GDP増大闘争こそが正しいのだ…〉といふ、一種の信仰により、〈日本民族の道徳空白問題〉

が、ごまかされてきました。

わたしは、戦後にふさはしい形態にて、〈日本民族の道徳空白問題〉を解決するには、沖ヨガが最適であると、判断いたしてをります。山田 学の、今までの半生の、自然な延長として、わたしには、次の、忍耐と細心さに、自信があります。〈地球協同社会へ〉、あらゆる機会を、徹底し、待たせていただく、忍耐。そのあらゆる機会を、徹底し、活かせていただく、細心さ。

わたしどもの仕事は、人民に仕へる事です。地球の全人民は、〈地球協同社会へ〉、運動仲間と、みなさせていただきます。

以上のやうな、解説と討論を、先行させていただいた上にて、わたしが父から継いだ、TQ技術運動を、展開させていただきます。

TQ技術は、日本社会にて、ものづくりを、ひろく深く、進化させる道です。〈諸生理を調整するための、物性加工における、根幹技術〉です。〈氣功の工業化＝アジア診療と欧米学問の接点〉です。

(ツイッターアカウント)=TQ展開 (山田 学)  
@tqtenkai <https://twitter.com/tqtenkai> の、固定ツイートにある、動画と文章が、基礎情報です。

TQ技術に接し、17世紀からの欧米学問の立場からは、一種の不思議さを感じずることは、むしろ、本質的であると、思ひます。

ただし、これを安易に販売するために、不思議さを前面に出し、お客を煙に巻くことは、

わたしの性格からも、敵に、慎んでまゐりました。

世界の学界向けには、〈酵素活性場〉〈生命促進性〉といふ、新概念を、提唱させていただいてをります。

TQ技術運動には、実は、どんな大商社も、経験したことがないほどの、総合性があります。近くに予想される、地球経済大転換後、次世代型の、根幹技術なのです。ICT (情報通信技術) の、次であり、ICTよりは、日本民族の感性に、なじみやすい。大企業ではなく、自主的な、個々人や、中小企業群の、連帯へ。TQ技術 (氣功の工業化) に、それが要請する、縄文のねっさんす＝地球協同運動の告知こそを、重ね合せた、唯一の、象徴的商品!!

さういふ、〈TQ中央商品〉を、目下、開発してをります…。

思想の崇高さ(!)が、〈TQ自由商品〉とは、区別されます。

以上のあり方にて、山田 学が、今の地球と日本の、究極の、異常な状況を、根本転換させていただきます。みなさまからの、あらゆる貴重なご助言は、上記ツイッターアカウントの、ダイレクトメッセージに、お寄せいただけますか。]